

## 施政方針及び当初予算案

予算の説明に先立ちまして、令和7年度の町政運営に関する基本的な考えを申しあげた上で当初予算案と主要事業について御説明申し上げます。

令和6年度の予算では、令和6年1月に締結した「伊根町とゴダイ株式会社との連携と協力に関する基本協定」に基づき、伊根分校跡地の造成を開始いたしました。そして既にその一部が姿を現しつつあります。令和7年度はいよいよ「ゴダイドラッグ伊根店（仮称）」の本体工事が開始されます。オープンは令和8年4月を予定しております。施設が完成した暁には、町内での日用品・食料品の購入において、町民さんの利便性の向上を大きく図れるものと期待しています。

更に、ゴダイ株式会社と取り交わした、この協定では、健康増進や地域防災など様々な分野での連携を図り、住民サービスの向上と地域の活性化に向けて取り組むこととしています。伊根町だけでは困難な取組や事業に繋ぐことができ、その面でも大いに期待できるものです。

我々、この協定を最大限に活かし、この小さな町が、新しい景色を見るもよし、同じ景色の中に新しい何かを見つけるもよし、兎にも角にも、新しい生き方に繋ぎ、明るく豊かで潤いのある少数社会の構築を目指したく思います。

コロナ禍の長いトンネルを抜け出、社会経済活動が日常を取り戻す中、国内外からの観光客が戻ってまいりました。一昨年が、37万3千人、コロナ前のピークの35万5千人を上回りました、V字回復です。その時「まだまだ伸びる」と、勝手な予測を申し上げたが、昨年は、調査結果はまだ出ていないが、優に40万人は超えているようです、そして、まだまだ伸びる。

私、「身の丈に合わせた」という言葉をよく使います。今後、舟屋群の魅力を更に磨く、伊根町観光の質を向上させ宿泊客を伸ばす、これは是非もないことです。しかし、逆に通過型の入込客は、程々に抑えて、地域住民さんの良好な生活環境を守る、その良好な環境を来訪者の皆さんにも喜んでもらう、そして事業者の皆さんにも稼いでもらえる、そんな三方良しの共存は、大きな課題と思う。そして、その賑わいと経済効果を伊根町全域に広めること

が更なる課題です。

しかし、その一方で観光客が集中する場所では、休日の渋滞や歩行者のマナー対策など、直接観光関係事業に携わっていない町民の方々から何とかしてほしいという声を聞かせていただいています。

これまで鳥屋地区の連休時の一方通行の協力依頼や、ゴールデンウィークなど特に渋滞が発生しやすい期間の臨時駐車場の開設、大型観光バスの待機場所設定など対策を講じてまいりました。令和7年度は、更に夏休み期間の渋滞緩和対策も検討しています。また、伊根湾巡り乗り場付近での大型バスによる混雑対策のため、近隣の町有地を駐車場用地として事業者に賃貸し混雑緩和対策を行いたいと考えています。住民の生活環境を整え「豊かですみよい・ええまち」の取組を進めます。

本町では、子育て世帯の経済的負担を軽減する措置として、これまでに教材費・給食費・修学旅行の無償化、高校生までの医療費の無償化など、現在では多くの自治体に広がり、その一部は国の施策として議論されるようになりました。こういった様々な施策に率先して取り組み、子育て

環境を充実させるよう取り組んでまいりました。

また、平成27年度から保育料の低料金化に取り組み、平成30年度からは、3歳児から5歳児までの保育料の無償化も実現しています。さらに、令和5年度からの保育所でのおむつ配布、令和6年度の昼寝用寝具整備による手ぶら登園の実現。

そして、令和7年度から、「保育料の完全無償化」を実現いたします。伊根町立の保育所に通う園児は、すべての年齢で無償とします。今後も切れ目のない子育て支援と保育の充実を進め子育て環境の充実に努め「子育てしやすい・ええまち」の取組を進めてまいります。

本町は、丹後半島の北東端に位置し、国道178号と府道による交通網が被災した場合など災害発生時に孤立しやすい地理的条件を持っています。こういった特性から国道178号の強靱化に向け、日置里波見間での対策を宮津市とともに京都府へ毎年要望を続け、令和6年度には調査費が付けられ念願に向けて大きな一歩が進み始めました。さらに、それに先立つ現道の法面防災も着実に進めてもらえるよう取り組んでいるところです。

町道の基幹路線である、亀島本庄浜線についても強靱化を進めるための法面防災対策も計画的に進捗させています。

また、豪雨災害、台風災害を経験し、それらの教訓から、役場やほっと館の無停電化、筒川コミュニティセンターの改築などのハード面での施策と、防災訓練や災害備蓄品の確保などソフト面での対策を複合的に講じてまいりました。

去年は、近畿総合通信局、第8管区海上保安本部、京都府宮津警察署、関西電力送配電など、関係機関と合同で災害時の通信手段確保訓練に取り組み、それに引き続いて伊根中学校で防災関係資器材を使った電波教室を実施いたしました。

令和7年度においては、地上通信網が被災した場合の外部との通信手段である衛星通信設備を「第3世代地域衛星通信ネットワーク」に更新し、また全国瞬時警報システム（Jアラート）の新型受信機の整備を計画しています。複数の災害関係情報伝達手段を組み合わせ、また、それぞれの情報伝達手段を強靱化することで、防災力の向上を図り「暮らしやすい・ええまち」の取組を進めます。

学校教育関係では、伊根中学校体育館に空調設備を整備いたします。

近年の温暖化の影響で、夏休みやその前後には気温が35度を超える猛暑日となることもあり、体育の授業やクラブ活動時の熱中症を警戒し、しっかりとした教育活動ができない場合があります。体育館に空調設備を整備することで、安心・安全で充実した学校教育の実現に向けた取り組みを行います。本事業は国の令和6年度補正予算分で、令和6年度第6回補正予算に計上したのですが、令和7年度実施分として「子育てしやすい・ええまち」の取組として進めてまいります。

令和7年度の各主要事業によって地域の皆様の暮らしと安心安全をすすめ、「ええまち・伊根町」の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

それでは、当初予算の提案説明に戻らせていただきます。

予算書1ページを御覧ください。また、別刷の令和7年度

伊根町当初予算（案）の3ページを併せてご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、40億4,400万円で、前年度と比較しますと、5億500万円 14.3%の増額です。

それでは歳入から説明いたします。一般会計は事項別明細書に詳細がございますのでそちらをご覧ください。

12、13ページをお願いします。

町民税は、6,925万円で、前年比66万3千円の増額です。固定資産税は、7,411万9千円で、前年比11万8千円の減額です。町税全体では88万9千円、0.6%の増額です。

14、15ページを御覧ください。

地方交付税は、17億2,700万円で、7,510万円の増額を見込みました。地方財政計画における地方交付税総額は、0.3兆円、1.6%の増となり、また、臨時財政対策債が皆減となり、そのことも踏まえ一定の留保財源の確保も含めてこの額といたしました。

16、17ページを御覧ください。

分担金及び負担金は、全体で418万4千円です。前年比667万8千円、61.5%の減となっています。本庄上地区の急傾斜地崩壊対策事業完了による480万円の減と、令和7年度から保育料の全年齢の完全無償化による190万円

の減によるものです。

使用料及び手数料は、総額1億5,458万9千円で、前年比850万7千円、5.2%の減額です。おもな減額の要因は公共残土処分場使用料などです。

18、19ページを御覧ください。

国庫支出金は、4億1,205万円、前年比8,259万3千円、25.1%の増額です。伊根分校跡地活用に係る「新しい地方経済生活環境創生交付金」などによるものです。

20、21ページを御覧ください。

府支出金は、2億9,608万3千円、前年比8,636万4千円、41.2%の増額です。水産物供給基盤機能保全事業補助金の増額などによるものです。

26、27ページを御覧ください。

財産収入は、1,218万8千円、前年比30万円、2.5%の増額です。

寄附金は、2,330万円で、前年同額です。

繰入金は、4億7,646万5千円、前年比5,974万円、14.3%の増額です。主な繰り入れの目的は、一般財源調整のため

の財政調整基金繰入、起債償還分の減債基金繰入などです。

28、29ページを御覧ください。

繰越金は、2,000万円で前年度同額です。

諸収入は、8,883万5千円、前年比1,027万5千円、13.1%の増額で、デジタル基盤改革支援補助金の増額によるものです。

30、31ページを御覧ください。

町債は、5億9,200万円、前年比2億180万円、51.7%の増額で、跡地活用事業による一般補助施設整備事業債の増額などによるものです。

自動車取得税交付金は、12万7千円の計上です。

次に歳出です。 32,33ページを御覧ください。

別刷りの方は、2ページを御覧ください。

議会費は、4,681万4千円、前年比241万8千円、4.9%の減額です。

続きまして、総務費です。34,35ページを御覧ください。  
総務費全体では、10億2,990万4千円、前年比3億8,511万4千円、59.7%の増額です。

主な増額要因は、企画費の跡地活用事業でゴダイ出店に係る補助金4億2,529万円を計上したことによるものです。

令和6年度の国の補正予算分に対応できるよう令和6年度第7回補正予算にも同事業を計上しています。補正予算分の採択を受けられた場合には、当初予算計上分は6月補正で減額したいと考えております。

62、63ページを御覧ください。

次に民生費ですが、6億4,606万9千円 前年比4,009万2千円 6.6%の増額です。

主な要因は、社会福祉費で、長寿苑の大規模修繕に係る地域密着型サービス整備等助成事業補助金の計上などによるものです。

80、81ページをお願いします。

衛生費は、2億9,257万7千円 前年比 444万5千円 1.5%の増額です。

90、91ページをお願いします。

農林水産業費は、5億801万3千円で、前年比5,605万7千円 12.4%の増額です。

漁港管理費で、伊根漁港水産物供給基盤機能保全工事の

進捗を図るための増額計上が主な要因です。

100、101ページを御覧ください。

商工費は、1億2,497万5千円で、前年比104万5千円、0.8%の減額です。観光客集中対策として平田地区の渋滞緩和対策期間を拡大すること、日出地区の町有地を活用し、周辺の渋滞緩和対策として、遊覧船事業者に駐車場用地として賃貸することなどを計画しています。

106、107ページを御覧ください。

土木費は、3億5,429万6千円 前年比481万8千円、1.3%の減額です。

道路整備事業では、亀島本庄浜線の防災工事を継続して実施するもののほか、亀島本庄浜線泊大橋の橋りょう修繕工事を計画しています。また、地区要望に基づいた道路整備計画に従った事業を計上しています。

112、113ページを御覧ください。

消防費は、1億4,086万3千円、前年比2,999万2千円、27.1%の増額です。

非常備消防費の消防設備維持管理事業で、消防車両更新計画に基づき、前年度に引き続いて多機能型小型動力付ポンプ積載車（軽自動車）を整備、第2分団第2部に配属するほか、災害対策事業で、京都府地域衛星通信ネットワー

ク設備を第3世代システムに更新するための負担金と合わせてJアラート受信システムの更新を行います。

116、117ページを御覧ください。

教育費は、3億5,984万円 前年比587万9千円 1.7%の増額です。

児童生徒の学習用タブレットの更新を行います。

140、141ページを御覧ください。

公債費は、5億3,606万5千円で、前年比857万9千円1.6%の減額です。

予備費は、458万4千円を計上しました。

## 議案第10号

令和7年度伊根町国民健康保険特別会計予算 です。

149ページをご覧ください。以後の特別会計の総額は、別刷りの1ページを御覧ください。

なお、特別会計は総額と主なもののみの説明とさせていただきます。

事業勘定の歳入歳出予算の総額は、3億8,823万円で、

前年比364万4千円 0.9%の増額です。

伊根診療所勘定の歳入歳出総額は、1億560万円で、前年比869万4千円 9.0%の増額です。

本庄診療所勘定の歳入歳出総額は、7,456万円で、前年比212万2千円 2.9%の増額です。

150、151ページを御覧ください。

事業勘定は、財政運営主体である京都府からの通知額をもとに、医療分は財政調整基金を活用した前年据え置き、後期高齢者支援金分と介護納付金分は、府からの通知に基づいた額を計上しております。

次に伊根診療所勘定です。

174、175ページを御覧ください。

診療収入は、前年実績等を勘案し後期高齢者医療分の増額計上などを行っています。

続きまして、本庄診療所勘定です。

190、191ページをご覧ください。

診療収入は、前年実績等を勘案し国保、社保、後期高齢といずれの保険分も患者数の減少傾向を反映した計上としています。

## 議案第11号

令和7年度伊根町財産区特別会計予算 です。

207ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ104万円で、5千円の減額です。

## 議案第12号

令和7年度伊根町介護保険特別会計予算 です。

219ページをご覧ください。

保険事業勘定の歳入歳出予算総額は、それぞれ4億7,339万円で、前年比1,163万円 2.5%の増額です。

介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額は、それぞれ140万円で、前年同額です。

220、221ページをご覧ください。

歳入は、歳出見込みに対する財源を法令に基づき積算したものです。

歳出は、被保険者数や前年度給付実績見込み等に基づいた給付費を計上しています。直近の実績見込みを反映させるなどして実際の給付額に近い予算となるよう積算いた

しました。

254、255ページをご覧ください。

介護サービス事業勘定は、歳入として見込めるケアプランの作成業務をサービス収入に計上し、次のページの歳出では、1款 総務費でケアプラン作成に係る人件費などのほか、2款 事業費でケアプランを外部委託する経費を計上しています。

### 議案第13号

令和7年度伊根町訪問看護事業特別会計予算 です。

265ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ2,032万円で、前年比38万円、1.8%の減額です。

訪問看護サービスは、前年度と同規模の提供を計画しております。

### 議案第14号

令和7年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算 です。

279ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、それぞれ 4,617万円 で、前年比140万5千円 3.1%の増額です。

前年度と概ね同様の歳入歳出を計画しております。

### 議案第15号

令和7年度伊根町簡易水道事業会計予算 です。

293ページをご覧ください。

公営企業法の適用2年目となります。

収益的収入は、8,600万円、収益的支出は、8,993万2千円です。次のページをお願いいたします。

資本的収入は、7,379万1千円、資本的支出は、1億734万8千円です。

### 議案第16号

令和7年度伊根町下水道事業会計予算 です。

325ページをご覧ください。

下水道事業につきましても令和6年度から公営企業法を適用しておりますので、事業会計予算となっております。

収益的収入は、8,121万8千円、収益的支出は、1億397万1千円です。次のページをお願いいたします。

資本的収入は、5,857万6千円、資本的支出は、7,247万9千円です。

以上当初予算の説明とします。

令和7年度も、今あるものを最大限に活用するためのしくみづくりを主眼にした事業を進め「ひと・まち・くらし・しごと」の全てが輝く「ええまち・伊根町」の実現に向け頑張ります。

議員各位をはじめ、町民の皆様のなお一層の御理解と御支援、御協力を心からお願い申し上げまして、私の施政方針と当初予算の提案説明とさせていただきます。